

令和7年12月18日(木)に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座」を開催しました。講座には18名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについての講義があったのち、グループに分かれて「これからの町内会運営に向けた見直しと人材発掘～サポーター制度とアンケート実施の手法～」をテーマとしたワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和7年12月18日(木) 14:00～16:30

場所：若林区役所 参加者：18名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ



■ 講義

講師の(株)KITABA 酒本宏氏から、町内会活動の見直しや町内会のお手伝いしてくれるサポーターを見つけるためのアンケートの実施方法など、担い手不足の解消に効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、5グループに分かれ、自分たちの町内会の課題に合わせたアンケートの実施方法や設問の作り方について意見交換を行いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

● サポーター制度による担い手確保を進める

- ・ 祭りやイベント運営、広報活動など、役割を限定したサポーター参加を検討する
- ・ サポーターとして関わる中で、将来的な役員候補につなげる仕組みを考える
- ・ 大きな行事の前にアンケートを実施し、関わりやすい入口をつくる

● 若い世代・学生との連携を進める

- ・ 中学生・高校生・大学生の参加や協力を得ることで、活動の幅を広げる
- ・ 学生に広報（SNS運用、インスタ発信等）やイベント運営を手伝ってもらう
- ・ 若い世代が興味を持てるイベントを企画し、参加のきっかけをつくる

● デジタル化を進めるための人材発掘を行う

- ・ LINEやSNSなどデジタルツールを活用できる人材の発掘が必要
- ・ デジタル化はサポーターとセットで進めることが重要
- ・ 紙媒体も残しつつ、段階的なデジタル化を進める

● ニーズ把握を起点とした企画づくりを行う

- ・ 若い世代がどのような活動に興味を持っているかを知る必要がある
- ・ アンケートを通じて「やってみたいこと」「参加しやすい形」を把握する
- ・ 音楽イベントやライブなど、まずは集まるきっかけづくりを重視する

● 多様な住民とのつながりを意識する

- ・ 外国人住民や留学生との交流も視野に入れる
- ・ 地域の歴史や文化をテーマにしたイベントを通じて交流を図る

グループごとの意見・アイデア

ワークショップでは、役員のなり手不足を背景としたサポーター制度の必要性についての意見が多く挙げられました。アンケート調査を通して、若い世代や学生の協力を得ながら、イベント運営やデジタル化を進め、将来的な担い手につなげることが重要との認識が示されました。

グループ1

- ・ 祭りなど大きな行事を行う前にアンケートを実施する
- ・ イベント運営ややぐら組みなどを担うサポーターを募集する
- ・ 行事に参加してもらうことで町内会への関心を高める

グループ2

- ・ デジタル化を進めるためのサポーターを発掘する
- ・ インスタやSNSを活用した広報に学生の協力を得る
- ・ 外国人住民との交流を目的とした地域探訪やイベントを検討する

グループ3

- ・ アンケートを実施し、サポーターを発掘する
- ・ デジタル化に向け、PCやスマホに詳しい人材を探す
- ・ 若手や学生の協力を得てデジタル化を進める

グループ4

- ・ 防災訓練やイベントを支援するサポーターを募集する
- ・ LINEなどに詳しい人材を発掘し、情報発信を強化する
- ・ 若い世代が参加しやすいイベントを通じて意見を聞く

グループ5

- ・ 若い世代に興味を持ってもらうイベントを企画する
- ・ 音楽イベントやライブなどを通じて参加のきっかけをつくる
- ・ スマホやデジタル操作を担う中心的人材を発掘する

